

八戸学芸員倶楽部 ブックトークイベント「学芸員のちょっと聞いて！」パート②

“民俗学学芸員によるフィールドワークと本の紹介

～歩く・見る・聞くの実践とススメ～” 参考書籍

◎「民俗学とは何か」を知りたい方向けの基礎的図書

柳田國男『柳田國男全集 第一巻』筑摩書房、1989

谷川健一他『日本民俗文化体系 第一巻 風土と文化=日本列島の位相』小学館、1986

赤田光男他『講座日本の民俗学 1 民俗学の方法』雄山閣出版株式会社、1998

安室知他『日本の民俗 4 食と農』吉川弘文館、2009

新谷尚紀『民俗学とは何か 柳田・折口・渋沢に学び直す』吉川弘文館、2011

市川秀之他『はじめて学ぶ民俗学』ミネルヴァ書房、2015

◎フィールドワークの方法論

箕浦康子『フィールドワークの技法と実際－マイクロ・エスノグラフィー入門－』ミネルヴァ書房、1999

香月洋一郎『景観のなかの暮らし－生産領域の民俗』未來社、2000

スディール・ヴェンカテッシュ『社会学者がニューヨークの地下経済に潜入してみた』東洋経済新報社、2017

◎お勧めフィールドワーカーの名著

宮本常一『忘れられた日本人』岩波文庫、1984

鳥越皓之『試みとしての環境民俗学－琵琶湖のフィールドから－』雄山閣出版株式会社、1994

野本寛一『地縛の復権－自然と結ぶ民俗をさぐる』岩波書店、2010

岡恵介『見えざる森の暮らし－北上山地・村の民俗生態史－』大河書房、2008

篠原徹『自然を生きる技術 暮らしの民俗自然誌』吉川弘文館、2005

菅豊『川は誰のものか 人と環境の民俗学』吉川弘文館、2006

山下裕作『実践の民俗学 現代日本の中山間地域問題と「農村伝承」』農産漁村文化協会、2008

安室知『日本民俗生業論』慶友社、2012

◎伝統とは何かを考える本

市川秀之『「民俗」の創出』岩田書院、2013

◎地元のフィールドワーカーの名著

高橋九一『稗と麻の哀史』翠楊社、1983